

## 第2回エコ印刷大賞<環境報告書・CSRレポート2008>

2009年4月8日

エコ印刷研究会 エコ印刷大賞選考委員会

環境報告書・CSRレポートは、企業の環境への取り組みを公表し、ステークホルダーとのコミュニケーションを行う媒体として活用されており、現在1000社を超える企業・事業所で発行されています。

今後の環境報告書・CSRレポートの課題は、コミュニケーションのレベルアップ、印刷物としての環境配慮のあり方、印刷物全般への展開などがあります。

エコ印刷研究会では、印刷物の環境配慮に着目し研究を進めてまいりましたが、その成果として「エコ印刷大賞」を制定し、2008年4月「エコ印刷大賞<環境報告書・CSRレポート2007>」を決定いたしました。この度、昨年に引き続き、環境報告書・CSRレポート2008年度版219点を審査し、「エコ印刷大賞<環境報告書・CSRレポート2008>」として大賞1点、優秀賞10点、継続優秀賞5点を決定いたしました。

### 第2回エコ印刷大賞<環境報告書・CSRレポート2008>

- 大賞 東武鉄道株式会社「2008社会環境報告書」
- 優秀賞 あいおい損害保険株式会社「あいおい損保の社会的責任CSRレポート2008」  
NTTコミュニケーションズ株式会社「NTTコミュニケーションズグループCSR報告書2008」  
株式会社竹中工務店「竹中esレポート2008」  
中外製薬株式会社「社会責任報告書CSR'07」  
株式会社椿本チエイン「椿本チエイン 環境・社会報告書 2008」  
東京リース株式会社「CSR報告書2008」  
日本ハム株式会社「社会・環境レポート2008」  
日本特殊陶業株式会社「Environmental & Social Report 2008」  
株式会社バンダイナムコホールディングス「バンダイナムコグループ CSR Report 2008」  
株式会社ブリヂストン「社会・環境報告書2008」
- 継続優秀賞 昭和電工株式会社「CSRレポート2008」  
株式会社東芝「CSR報告書2008」  
日本ガイシ株式会社「2008環境・社会レポート」  
日本電信電話株式会社「NTTグループ CSR報告書2008」  
矢崎総業株式会社「社会環境報告書2008」 (50音順)
- 選考 エコ印刷研究会 エコ印刷大賞選考委員会
- 表彰式 2009年4月22日(水) 13時30分～14時30分  
環境パートナーシップオフィス EPO会議室 (渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山B2F)  
詳細は右記を参照ください。 <http://eco-ken.com/eco/seminar/seminar4/>

※継続優秀賞:エコ印刷大賞<環境報告書・CSRレポート2007>受賞企業の発行する2008年度版報告書で、大賞・優秀賞に順ずる優秀なもので、継続的な改善を行っているもの

ご取材希望の方は事前にご連絡をお願いいたします。「エコ印刷大賞<環境報告書・CSRレポート2008>」についてのお問い合わせは、下記エコ印刷研究会事務局までお願いいたします。

問い合わせ先

エコ印刷研究会事務局(担当:野地)

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-21-6-401 コムデザイン株式会社内

TEL 03-3264-6786 FAX 03-3264-6787

e-mail [info@eco-ken.com](mailto:info@eco-ken.com) URL <http://www.eco-ken.com/>

(参考)

○ エコ印刷研究会 (事務局長:奥山 淳)

エコ印刷研究会は、印刷物を企業活動に利用する調達者・購入者の立場で、環境に配慮した、責任ある印刷物「エコ印刷」の研究と普及を目指し、2006年発足しました。

2006年4月より、毎月セミナー・勉強会を開催、調達者・購入者の立場での印刷技術、環境対応についての研究を重ねており、これまでのべ100社以上の皆様にセミナー・勉強会に参加いただいております。

また、市場の印刷物の環境対応状況についての調査も行い、環境報告書・CSRレポートは発足当初より毎年200点以上の調査を継続しています。これまでの研究成果および、実例調査を踏まえ、今回「環境報告書・CSRレポート エコ印刷大賞」を制定いたしました。

○ エコ印刷研究会の理念

印刷の歴史は、15世紀のグーテンベルクによる活版印刷の発明まで遡ります。情報(コンテンツ)を大量・廉価に複製し、伝達可能な技術は、世界を一変させ、現在の情報化社会の基盤ともなりました。印刷は、人々の生活、企業活動に欠かすことのできないものとなっています。

しかし、世界中で日々大量に使用され、処分される印刷物は、大きな環境負荷を与え続けています。

その1つ1つは小さく、また企業では間接部門に位置付けられるため関心が薄く、環境汚染の要因とされるまでになっているにも関わらず、印刷物の環境配慮は進んでいるとはいえません。

印刷物の環境負荷低減のための効果的なアクションは、印刷物発注者の意識と行動です。

エコ印刷研究会は、印刷物を企業活動に使用する発注者の立場で、「地球と調和した印刷物」を通じて、環境負荷低減、持続的社會に貢献することを目的に、印刷技術の研究や、実態調査、普及活動等を行っています。

○ 選考委員プロフィール

寺田 勝昭

P&Eマネジメント代表 環境スペシャリスト

元共同印刷株式会社 環境管理部長

在任中日本印刷産業連合会グリーン基準や環境優良工場表彰制度の創設に尽力

日本印刷産業連合会、全日本印刷工業組合連合会、東京都印刷工業組合の環境委員会委員

JQA及びコムデザイン株式会社の環境スペシャリスト

水なし印刷研究会顧問 東京都VOC対策アドバイザー

印刷業界の環境スペシャリストとして主導的役割を務める

西原 弘

有限会社サステナブル・デザイン研究所 取締役社長

10年以上に渡り、「リサイクル対応型印刷物」など古紙リサイクルに関する多数の調査研究に従事

環境社会学、廃棄物管理・リサイクル、環境マネジメント等を専門とする

環境カウンセラー、エコアクション21審査人

奥山 淳

エコ印刷研究会 事務局長

コムデザイン株式会社 代表取締役

元通商産業省 紙業印刷業課

退省後、ソフトウェア開発メーカーの経営陣を経て、コムデザイン株式会社を設立

2006年、印刷物利用者・調達者の立場で、環境に配慮した、責任ある印刷物の

研究と普及を目指すエコ印刷研究会を発足